

「ウポポイ」を活用した学習活動

檜山管内 上ノ国町立滝沢小学校

1 学習活動の概要

ふるさとへの愛着や誇りを育むとともに、アイヌの人たちの歴史・文化等を尊重する態度を育むため、「ウポポイ」のWebページ等を活用した調べ学習や、上ノ国町の史跡である「勝山館跡」見学を指導計画に位置付け、探求的な学習活動を展開しました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

社会科の学習を振り返り、アイヌの人たちの歴史・文化等への関心を高め、「アイヌの人たちと上ノ国町の関わりについて理解を深めよう」という学習課題を設定しました。

(2) 情報の収集

図書室の書籍や「ウポポイ」を紹介したテレビ番組やインターネットを活用して、「アイヌ文様、アイヌ語、衣服、儀式（イオマンテ）」について調べ学習を行いました。その後、「勝山館跡」に残るアイヌの人たちの生活の跡や史跡内の「勝山館ガイダンス施設」に展示されているアイヌの人たちに係る資料等の見学を通して、身近なアイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めました。

(3) 整理・分析

収集した情報を整理・分析し、アイヌの人たちの歴史や文化が、中国や本州などの歴史や文化と深く関連していることについて理解を深めました。

(4) まとめ・表現

アイヌ文様を作成する活動や、アイヌの人たちの歴史・文化等について調べたことをまとめ、交流する学習を通して、他の児童がまとめた内容に興味をもち、新たな課題を発見するなど、学習意欲を高めました。



【児童が作成したアイヌ文様】

3 児童の感想等

- ・アイヌの人たちの着ていた衣服を見て、現在との違いに驚きました。
- ・アイヌの人たちが漁に使っていた船が、体がすっぽり入ってしまうほどの大きさだったので、びっくりしました。
- ・アイヌの人たちが作ったお盆には、アイヌ文様が彫られていたことを知りました。
- ・狩りをする矢が、思っていたよりも短くてびっくりしました。
- ・アイヌの人たちは、中国との交流があったことを、着ていた服から知ることができました。